

報 道 資 料

平成23年 3月18日
奈良県防災統括室
担当：徳田
直通：27-8448
内線：4508

3月11日の東北地方太平洋沖地震に関する 奈良県の対応等について（第18報）

（3月18日18：15発表）

1. 地震情報

3月11日（金）14：46頃 本震発生

2. 県の体制

3月14日（月） 奈良県東北地方太平洋沖地震支援連絡会議を設置

3. 救援物資について

○毛布★報道発表済み

3月14日（月） 3,500枚、宮城県気仙沼市役所へ搬送

3月15日（火） 7,000枚、宮城県気仙沼市役所へ搬送

○県及び市町村備蓄物資★報道発表済み

3月17日（木） 被災地へ向けトラック7台で出発

福島県向け 毛布 13,000枚

岩手県向け おむつ（大人用）16,000枚

おむつ（小児用）30,000枚

宮城県向け トイレ（屋外用） 80機

トイレ（簡易式） 7,000個

○民間物資の受入状況（3月18日16時現在）★報道発表済み

物資提供の申し出件数 96件（累計 188件）

受入件数 14件（累計 43件）

4. 被災地への人員派遣

①防災統括室職員（先遣隊）の派遣

3月14日（月）～18日（金） 宮城県庁において情報収集

②DMAT関係（担当：奈良県医療政策部地域医療連携課）

3月11日（金） 奈良県DMAT（奈良県立医科大学チーム第1隊 5名）

陸路により仙台医療センターへ出発。

3月12日(土) 奈良県DMAT(奈良県立医科大学チーム第2隊・県立奈良病院チーム・市立奈良病院チーム 合計13名)
伊丹空港から、自衛隊機により花巻空港へ出発。

各隊活動開始

3月13日(日) 奈良県DMAT1隊(奈良県立医科大学チーム第1隊)
仙台医療センターで現地本部と協議し活動終了。
奈良県へ向け出発。

3月14日(月) 奈良県DMAT1隊(県立奈良病院チーム)、バスで奈良県へ出発。
奈良県DMAT1隊(市立奈良病院チーム)、奈良県へ帰着
奈良県DMAT1隊(奈良県立医科大学チーム第2隊)、奈良県へ帰着

③医療従事者等の派遣

○保健師の派遣(担当:医療政策部保健予防課)★報道発表済み

県及び奈良市の保健師等が3月16日(水)奈良県庁から宮城県へ向け出発
活動期間 4月30日(土)まで4泊5日で交替で支援を行う予定。

○医療救護班の派遣 ★報道発表済み

奈良県医療救護班を宮城県気仙沼市に派遣予定(医師2名、看護師2名、事務2名)
活動期間 3月19日(土)～23日(水)

④消防防災ヘリコプター

3月11日(金) 消防庁から奈良県消防防災ヘリコプター出動依頼
搭乗員は9名(隊員5名、機長1名、副機長1名、整備士2名)

3月12日(土) 奈良県ヘリポート出発、福島空港到着
宮城県亘理郡～福島県相馬市において、捜索・救助活動実施。
(～3月14日(月))

3月15日(火) ヘリの25時間点検のため活動休止

3月16日(水) 福島原発爆発事故のため、群馬ヘリポートにて待機

3月17日(木) 奈良県ヘリポートに帰投

⑤緊急消防援助隊の出動

3月11日(金) 消防庁から奈良県緊急消防援助隊に出動要請

3月12日(土) 針インターに集結、25隊91名が東京方面に向けて出発。
途中、消防庁の指示により、目的地を長野県庁に変更。
(長野県で震度6強の地震を観測したため)
長野市消防局と調整の結果、福島県郡山カルチャーパークに
向け出発、到着。
(内訳)

県指揮隊	2隊	6名
消火部隊	7隊	34名
救助部隊	3隊	15名
救急部隊	10隊	30名
後方支援隊	3隊	6名

3月13日（日） 福島県郡山カルチャーパークから宮城県山元町に向け出発。
岩沼市へ緊急出動要請。岩沼市消防本部に向け出発、到着。
山元町立山下中学校へ到着。

後方支援隊1隊（4名）を、緊急消防援助隊にかかる物資搬送のため
追加派遣。宮城県へ向けて出発。

3月14日（月） J R常磐線坂元駅北側一帯で救助活動

交替要員（第2隊）出発（26隊93名）

3月15日（火） 交替要員到着、引継、引き続きJ R常磐線坂元駅北側一帯で救助
活動
先発隊、現地引き揚げ

3月16日（水） 先発隊、奈良市消防局帰着 解散式
第2隊、J R常磐線山下駅周辺で救助活動

3月17日（木） 第2隊、宮城県山元町で捜索活動
第3隊（2回目の交代要員）出発

3月18日（金） 第3隊交代要員到着、引継、第2隊引きあげ

⑥奈良県警察広域緊急援助隊（担当：奈良県警察本部警備第二課）

3月11日（金） 広域緊急援助隊 救出救助業務のため東北地方へ向け出発

3月12日（土） 広域緊急援助隊（刑事部隊）宮城県へ向け出発。

3月13日（日） 広域緊急援助隊 各部隊 活動開始

3月15日（火） 広域緊急援助隊（刑事部隊）帰県

3月17日（木） 広域緊急援助隊（警備部隊）帰県

⑦応急給水支援隊の出動

3月15日（火） 給水車1台、指令車1台、職員5名、
応急給水支援活動のため、県水道局から岩手県盛岡市上下水道局
に向けて出発。（1班あたり8日間出張、4班体制で対応）
（担当：奈良県水道局総務課）

3月16日（水） 給水車10台9事業者（※）22人、奈良市水道局から岩手県盛
岡市上下水道局へ向けて出発。

※奈良市2台、生駒市、橿原市、香芝市、桜井市、天理市、
大和郡山市、大和高田市、広陵町各1台 計10台

（担当：奈良市水道局業務部総務課）★同機関より報道発表済み

3月17日（木） 陸前高田市 希望ヶ丘病院で給水活動

⑧奈良県警察警備部隊の派遣

3月19日(土) 9:00 奈良県警察警備部隊、宮城県へ向け出発予定
29名(機動隊6名、管区機動隊23名)
派遣期間 3月21日(月)～3月25日(金)

4. 市町村の対応

3月11日(金) 17:00 奈良市救援対策本部設置
(担当: 奈良市市民安全課)

5. 防災関係機関の対応

○日本赤十字社奈良県支部

医療救護班1班(7名)、県立三室病院で準備完了。

3月12日(土) 岩手県盛岡赤十字病院に向け出発。救援物資として毛布
1,000枚を提供。

3月13日(日) 盛岡赤十字病院に到着。
日赤岩手県支部の指示により久慈市大川目中学校(避難所)へ移動。
大川目中学校で青森県支部の先遣隊と合流。合流後、岩手県
九戸郡野田村の国民宿舎「えぼし荘」(避難所)へ移動し、医
療救護活動を開始。

3月14日(月) 野田村役場職員と保健師の案内で、順次巡回診療後、避難所(久
慈工業高校)へ移動。
避難所(久慈工業高校・岩手県野田村)到着、巡回診療を実施。
毛布500枚 追加提供。

3月15日(火) ライジングサンスタジアム運動公園野球場及び野田小学校(岩手
県野田村)に救護所を設営し、医療救護活動を実施。

3月16日(水) 救護所で診療活動を実施。

3月17日(木) 救護班第1班と第2班(県立奈良病院6名・支部職員1名)、日
本赤十字社青森県支部にて引継後、第1班帰県。第2班は野田村
へ移動

3月18日(金) 野田村内避難所(10カ所)、巡回診療開始

6. 県営住宅・市町村営住宅の被災者への提供提供

★報道発表済み(担当: 奈良県住宅課)

○県営住宅: 計100戸

○市町村営住宅: 計56戸(15市町村) ※今後さらに増える見込み

7. 被災した生徒等の奈良県での就学機会の確保について

★報道発表済み(担当: 奈良県教育委員会事務局学校教育課)

①県立高等学校の入学者選抜における弾力的な取扱い

②転学における弾力的な取扱い

③相談窓口の設置

※観測震度や奈良県内市町村における被害(人的被害およびその他の被害の情報なし)
については、今後新しい情報がない限り記載を省略します。